

令和6年度  
教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書  
＝令和5年度事業分＝



令和6年10月  
上川町教育委員会

# 目 次

1、点検及び評価の趣旨	.....	2
2、点検及び評価の対象	.....	2
3、点検及び評価の方法		
(1) 点検及び評価の視点	.....	2
(2) 学識経験者の知見の活用	.....	2
4、点検及び評価の結果		
(1) 教育委員会の活動状況	.....	3
(2) 主要施策、事業等の実施状況及び評価	.....	6
5、学識経験者の意見		
(1) 教育委員会の活動状況	.....	14
(2) 学校教育	.....	14
(3) 社会教育	.....	15
(4) 総合評価	.....	15

## 1、点検及び評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され(平成20年4月1日施行)、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することになりました。また、点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

## 2、点検及び評価の対象

令和5年度の教育委員会の活動状況のほか、学校教育及び社会教育において実施した施策・事務事業等を点検及び評価の対象としております。

## 3、点検及び評価の方法

### (1)点検及び評価の視点

教育委員会会議の開催状況など、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、施策・事務事業等については、妥当性、成果等の観点から実施状況を点検し、今後の取組の方向性を明らかにしています。

### (2)学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った教育委員会の活動状況や施策・事務事業等の実施状況についての点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検評価に関する意見や助言をいただきました。

#### 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」

##### (教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

4、点検及び評価の結果

(1)教育委員会の活動状況

① 構成

(令和6年3月31日現在)

職 名	氏 名	委員初任年月日	任 期
教 育 長	館 山 孝 佳	R 4. 4. 26	R 4. 4. 26 ~ R 7. 4. 25
職務代理 (R4.10.1から)	谷 越 一 仁	R 2. 10. 1	R 2. 10. 1 ~ R 6. 9. 30
委 員	桜 田 紀 子	H 29. 10. 1	R 3. 10. 1 ~ R 7. 9. 30
委 員	伊 藤 聖 健	R 4. 10. 1	R 4. 10. 1 ~ R 8. 9. 30
委 員	清 野 友 紀 子	R 5. 10. 1	R 5. 10. 1 ~ R 9. 9. 30

② 会議の状況

令和5年度は、次のとおり会議が開催されました。

それぞれの会議においては、委員が教育行政の運営の基本方針や教育委員会規則等の制定・改正など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、重要事項について事務局から報告を受けています。

	開催月日	件 名						
1	5. 5. 25	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">議案</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度特別支援教育就学奨励費支弁区分の認定について</li> <li>・上川町教育支援委員会委員の委嘱について</li> <li>・上川町学校運営協議会委員の委嘱について</li> <li>・上川高等学校教育振興対策協議会委員の委嘱について</li> <li>・上川町生徒指導推進協議会委員の委嘱について</li> <li>・上川町立給食センター審議会委員の委嘱について</li> <li>・上川町社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>・上川町スポーツ指導員の委嘱について</li> <li>・上川町スポーツ推進委員の委嘱について</li> <li>・上川町家庭教育学級主事・世話人の委嘱について</li> <li>・上川町立小中学校施設開放事業管理指導員の委嘱について</li> <li>・上川町郷土資料収集協力員の委嘱について</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">協議案</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度上川町総合教育会議の開催について</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">報告</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度主任等の命課状況について</li> <li>・令和4年度社会教育施設の利用状況について</li> <li>・上川町民生委員推薦会委員の委嘱について</li> </ul> </td> </tr> </table>	議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度特別支援教育就学奨励費支弁区分の認定について</li> <li>・上川町教育支援委員会委員の委嘱について</li> <li>・上川町学校運営協議会委員の委嘱について</li> <li>・上川高等学校教育振興対策協議会委員の委嘱について</li> <li>・上川町生徒指導推進協議会委員の委嘱について</li> <li>・上川町立給食センター審議会委員の委嘱について</li> <li>・上川町社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>・上川町スポーツ指導員の委嘱について</li> <li>・上川町スポーツ推進委員の委嘱について</li> <li>・上川町家庭教育学級主事・世話人の委嘱について</li> <li>・上川町立小中学校施設開放事業管理指導員の委嘱について</li> <li>・上川町郷土資料収集協力員の委嘱について</li> </ul>	協議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度上川町総合教育会議の開催について</li> </ul>	報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度主任等の命課状況について</li> <li>・令和4年度社会教育施設の利用状況について</li> <li>・上川町民生委員推薦会委員の委嘱について</li> </ul>
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度特別支援教育就学奨励費支弁区分の認定について</li> <li>・上川町教育支援委員会委員の委嘱について</li> <li>・上川町学校運営協議会委員の委嘱について</li> <li>・上川高等学校教育振興対策協議会委員の委嘱について</li> <li>・上川町生徒指導推進協議会委員の委嘱について</li> <li>・上川町立給食センター審議会委員の委嘱について</li> <li>・上川町社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>・上川町スポーツ指導員の委嘱について</li> <li>・上川町スポーツ推進委員の委嘱について</li> <li>・上川町家庭教育学級主事・世話人の委嘱について</li> <li>・上川町立小中学校施設開放事業管理指導員の委嘱について</li> <li>・上川町郷土資料収集協力員の委嘱について</li> </ul>							
協議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度上川町総合教育会議の開催について</li> </ul>							
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度主任等の命課状況について</li> <li>・令和4年度社会教育施設の利用状況について</li> <li>・上川町民生委員推薦会委員の委嘱について</li> </ul>							

2	5. 7. 7	議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度準要保護児童生徒(追加分)の認定について</li> <li>・上川町生徒指導推進協議会委員の委嘱について</li> <li>・上川町教育支援委員会委員の委嘱について</li> </ul>
3	5. 8. 26	議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度から使用する小学校教科用図書の採択について</li> <li>・令和4年度上川町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価について</li> <li>・令和5年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</li> </ul>
4	5. 10. 2	議案 協議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上川町総合教育会議について</li> <li>・上川町学校運営協議会委員の委嘱について</li> <li>・上川町社会教育・公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>・令和5年度第2回上川町教育委員会学校訪問について</li> <li>・認定こども園建設検討委員会委員の推薦について</li> </ul>
5	5. 12. 21	協議案 報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度上川町教育予算要求の概要について</li> <li>・令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について</li> <li>・令和6年上川町はたちのつどいについて</li> </ul>
6	6. 2. 19	議案 協議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度教育費予算について</li> <li>・令和5年度上川町教育奨励顕彰について</li> <li>・令和6年度上川町立学校職員の内申について</li> <li>・上川町社会福祉審議会委員の推薦について</li> </ul>
7	6. 2. 28	議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度上川町立学校職員の内申について</li> <li>・上川町立給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則について</li> <li>・令和5年度準要保護児童生徒(令和6年度入学予定者)の認定について</li> </ul>
8	6. 3. 27	議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度準要保護児童生徒の認定について</li> <li>・スポーツ指導員等設置規程の一部を改正する訓令について</li> </ul>

③ 学校訪問の実施

実施月日	訪問学校	内 容	出席者
5. 5. 25	上川小学校 上川中学校	授業参観、学校経営状況ほか (給食試食)	教育長と委員4名
5. 10. 26	上川小学校 上川中学校	授業参観、授業参観感想など意見交換 (給食試食)	委員4名

④ 研修会等への参加状況

開催月日	内 容	場 所	出席者
5. 7. 21	第58回北海道市町村教育委員会研修会	札幌市	教育長と委員4名
5. 10. 24	上川管内教育長・教育委員研修会	旭川市	教育長と委員4名
5. 11. 27	総合教育会議	上川町	教育長と委員4名

⑤ その他行事等への出席状況

開催月日	行 事 名 等	場 所	出席者
5. 4. 3	教職員辞令交付式	かみんぐホール	教育長と委員3名
5. 4. 6	上川小学校入学式	上川小学校	教育長と委員4名
5. 4. 6	上川中学校入学式	上川中学校	教育長と委員4名
5. 4. 10	上川高等学校入学式	上川高等学校	教育長と委員3名
5. 4. 19	白寿大学開講式	かみんぐホール	教育長
5. 5. 19	上川中学校体育祭	上川中学校	教育長
5. 6. 4	上川小学校運動会	上川小学校	教育長と委員1名
5. 9. 8	上川中学校学校祭	上川中学校	教育長
5. 9. 16	児童・生徒主張のつどい	かみんぐホール	教育長と委員2名
5. 10. 14	上川小学校学芸会	上川小学校	教育長と委員4名
6. 1. 7	上川町はたちのつどい	かみんぐホール	教育長と委員2名
6. 3. 1	上川高等学校卒業式	上川高等学校	教育長と委員1名
6. 3. 8	上川中学校卒業式	上川中学校	教育長と委員3名
6. 3. 19	上川小学校卒業式	上川小学校	教育長と委員2名

## (2)主要施策、事業等の実施状況及び評価

No.	事務事業名	目的	実績	点検・評価と方向性
学-1	外国語指導助手等 招致事業	上川町における外国語教育の充 実を図る	決算額 9,259,275円 月：上川小学校・上川中学校 火：上川小学校・上川中学校 水：上川小学校・上川中学校 木：上川幼稚園・のぞみ幼稚園・中央保育所 上川小学校・上川中学校 金：上川小学校・上川中学校	幼少期からALTとふれあうことが国際理解を深めること となり、生の英語に触れることで外国語を学ぶ意欲の向 上につながっている。 小学校学習指導要領において、3・4年で35時間、5・6 学年での70時間の授業時間数が定められており、平成 30年度からALTの2名体制をとっている。国際交流の推 進、外国語教育のさらなる充実を図る必要から事業継 続とする。
学-2	教職員住宅整備事 業	小中学校教職員の住宅整備を 図る	決算額 2,063,072円 今年度事業の主なものは、中央町教職員住宅外壁コーキング打ち替え、 壁紙の張り替えなど	住宅環境の確保は、教職員の福利厚生事業の一環 及び地域の教育推進上不可欠であり、事業継続とす る。
学-3	部活動通学費事業	スクールバス利用生徒で部活動 により下校時等に他の交通機関 を利用せざるを得ない家庭への 保護者負担軽減を図る	決算額 84,584円 該当生徒5人 部活動生徒に対する通学費補助金交付要綱により公共交 通機関の2/3、自家用車燃料代相当分（5km/ℓで算出）	生徒数減少に伴い活動が困難な部が存在する中、部 活動の円滑な活動のためにも効果ある事業であること に、部活動生徒の保護者負担軽減が図られている。 越路、東雲、層雲峡から通学する部活動生徒がい ない場合は事業休止とする。
学-4	教職員研修・研究 活動事業	教職員の資質能力の向上を図る	決算額 748,003円 上川町教育研究会交付金事業 新型コロナウイルス感染症の5類感染症指定を受け、 R5年度は小中学校教諭各1名、教育委員会職員1名により 道外先進地視察研修（東京都）を行っている。	児童生徒一人一人の良さに注目し、それを発揮しよう とする意欲を育てることが極めて重要であり、教員の研 修・研究の充実が必要である。 また、本年度より道外先進地視察研修を再開し、さら なる研鑽を図ってきた。 本事業を通じて、教職員の資質・指導力の向上が図ら れ、児童生徒の学力向上につながることを期待されるこ とから事業継続とする。
学-5	生徒指導推進協議 会事業	児童生徒の健全育成のための地 域環境の整備推進	決算額 93,000円 大上川神社祭巡回指導 校外生活のしおり発行、児童生徒の安全対策（携帯用 防犯ブザーの配布）、標語募集・作成、こども110番のぼり設置	児童生徒の安全確保及び交通安全・公共マナーの意 識の高揚が図られている。 町内各学校が連携を図り、関係機関の協力を得て実 践的な活動を推進するため、今後も事業継続とする。
学-6	部活動推進事業	学校教育活動の一環としての部 活動の推進を図る	決算額 1,274,746円 7月 北海道陸上選手権大会 7月 北海道中学陸上競技大会 8月 国民体育大会北海道選手選考会 9月 北海道ジュニア陸上選手権大会 9月 北海道中学新人陸上競技大会 10月 JOCジュニアオリンピックカップ 12月 北海道中学校スキー大会 2月 全国中学校スキー大会	生徒に広く実践の機会を与え、技能の向上を図り、心 身ともに健康な生徒の育成が図られている。今後も事業 継続とする。

## (2)主要施策、事業等の実施状況及び評価

No.	事務事業名	目的	実績	点検・評価と方向性
学-7	総合的学習等事業	自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題を解決する資質能力を育てる	決算額 388,879円 上小 植物の栽培、施設見学、銀河・流星の滝写真撮影、黒岳散策(紅葉谷) 上中 進路啓発学習、日帰り研修、地域学習講演	体験学習等を通じて、自ら考えて行動に繋げる取組を展開できた。 自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」を高める総合的な学習を充実させるために必要な事業であり、事業継続とする。
学-8	姉妹友好交流(カナダ来町)事業	カナダアルバーター州ロッキーマウンテンハウス町との姉妹提携に伴い、両町の中学生の相互交流により生徒の豊かな感性と国際感覚を育むとともに、両町の友好親善に寄与する	決算額 0円 本年度もカナダから中学生が来町する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ※令和6年度より事業再開	本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、実施できれば上川中学校の生徒とロッキーマウンテンハウス町の中学生との有意義な交流を行うことができる。 国際化がますます進展する中で、国際社会の一員であるという視野を持ち、相互交流し理解し合い異文化を知ることは重要なことであり、事業継続とする。
学-9	就学援助(奨励)事業	経済的理由により就学困難と認める児童生徒の家庭へ必要な援助及び特別支援学級に在籍する児童生徒の家庭へ特殊事情を鑑み必要な援助を行う	決算額 1,375,172円 ○要保護準要保護児童生徒就学援助費 学用品・通学用品・校外活動費(31人) 新入学児童生徒学用品費(1人) 修学旅行費(5人) 体育実技用品費(8名)  ○特別支援教育就学奨励費 学用品・通学用品・校外活動費(5人) 新入学児童生徒学用品費(0人) 修学旅行費(1人) 体育実技用品費(4人) 学校給食費(8人)	経済的理由により就学困難となる児童生徒の就学の機会を確保するため、学用品、校外活動費などの支援を行なっている。生活困窮者や特別支援学級就学児の家庭に対し援助を行うことで、教育機会の平等が確保されている。 今後も必要となる援助を行うため事業継続とする。
学-10	学童保育センター運営事業	留守家庭児童及び遠距離通学の児童を対象に保護者の委任を受けて下校後の教育的措置として児童の生活指導を図る	決算額 5,544,537円 開設場所 上川小学校1階 開設日数 285日 登録児童数 36人(月平均)	保護者が共働きあるいはひとり親家庭の児童が多い状況から、児童の健全育成及び保護者が安心して働くためにも、必要度が極めて高い。 今後も事業継続とする。
学-11	小学校管理運営事業	小学校の教育環境の整備充実を図る	決算額 35,202,288円 ○学校運営及び施設管理の適正執行 児童数 95名 教職員数 17名 事務補・公務補 2名	学校教育目標である「たくましく創造的に生きぬく子」を育成するため、年度の重点目標を設定し、児童の心の育成、学力の習得・向上、健康と体力づくりを進めている。 小学校運営に必要な支援や教育にかかる教材、図書、機器等の経費であることから必要不可欠であり、良質な教育環境を維持するため事業継続とする。



## (2)主要施策、事業等の実施状況及び評価

No.	事務事業名	目的	実績	点検・評価と方向性
学-12	中学校管理運営事業	中学校の教育環境の整備充実を図る	決算額 37,142,256円 ○学校運営及び施設管理の適正執行 生徒数 55名 教職員数 14名 事務補・公務補 2名	学校教育目標である「自ら学び心豊かにたくましく生きる人」を育成するため、年度の重点目標を設定し、基礎的・基本的な学習内容・生活習慣の定着等を進めている。 中学校の運営に必要な支援や教育にかかる教材、図書、機器等の経費であることから必要不可欠であり、良質な教育環境を維持するため事業継続とする。
学-13	特別支援教育推進事業	学校における日常生活の介助(食事・排泄・教室の移動)、LD(学習障害)の学習支援、ADHD(注意欠陥・多動性障害)等、通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒への学習活動をサポートし特別支援教育の充実を図る	決算額 6,437,521円 小学校 支援員 1名 臨時教諭 1名 中学校 臨時教諭 1名	増加傾向にある困り感のある児童生徒に対し、きめ細かい指導により基礎基本をしっかりと身につけることができており、支援員配置の効果が現れている。 特別支援教育を充実させるためにも事業継続とする。
学-14	中高一貫教育推進事業	教育環境の推進及び上川高等学校の存続を図る	決算額 1,183,012円 <実践研究の実施状況> ■「6年間のキャリア教育を通して、幅広い進路選択をすることができる力を身につける」生徒を育成するための中高の連携の在り方についての研究 ○生徒募集用ポスター・パンフレット ○公立高校説明会、体験入学  <各種検定奨励事業補助> 中学校 36人(延べ58人) 高校 16人(延べ31人)	中高合同総合学習において、地域の自然環境や社会環境を学ぶことにより、知識・技能を活用して思考・判断する能力を育成することが必要である。今年度、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、コロナ前に近いかたちで実施してきており、中高6年間の継続的なプレゼンテーション学習などにより、発表を通して表現する能力の育成を図ってきた。 中高双方の教員が合同学習や授業のTTにおいて連携することにより、生徒の個々の能力を引き出すことができた。 更に魅力ある学校づくりを推進するとともに、上川高等学校の存続が必要であることから事業継続とする。
学-15	上川高等学校存続対策事業	上川高等学校の存続を図るため入学者に対し入学準備金の助成、町外から通学する生徒の家庭に対しては通学費等の助成、上川中学校からの入学者に対し就学支援金の助成を行うことにより、保護者の負担軽減を図る	決算額 19,284,658円 通学費等補助 鉄道 32人 自転車等 1人 バス 3人 下宿 0人  入学準備助成金 21人 上川高等学校海外研修事業 24人 上川高等学校就学支援事業補助金 26人 上川高等学校教育用タブレット整備事業 49人	上川中学校の卒業生が減少する中で、上川高校の存続を図るためには、町内外からの入学者を確保することが不可欠である。特色ある学校づくりの取組として通学費補助・入学準備助成金の支給のほか、令和4年度より希望する生徒の海外研修実施、タブレットの無償貸与等により、入学者の確保につながった。上川中学校を卒業後に上川高等学校へ進学する者へ就学支援金を支給することにより、生徒の確保が図られている。 今後の入学者確保に向けて、事業継続とする。

## (2)主要施策、事業等の実施状況及び評価

No.	事務事業名	目的	実績	点検・評価と方向性
学-16	給食センター運営事業	幼児・児童・生徒の心身の健全な発達のため栄養バランスのとれた食事の提供と食事の正しい理解と望ましい食習慣を養う	決算額 49,546,368円 調理稼働日数 211日 提供食数 幼稚園 8,438食(1日平均 43食) 小学校 22,491食(1日平均 114食) 中学校 13,648食(1日平均 71食) 高校 8,338食(1日平均 51食) センター 1,998食(1日平均 10食) 計 54,913食(1日平均 289食) 1食当たりの給食費 幼稚園 164円(牛乳なし) ※平成26年6月から開始 小学生 245円 中学生 290円 高校 270円(牛乳なし) ※令和3年5月から開始 アレルギー代替食提供(平成30年8月から実施) 給食費軽減負担金(平成26年4月から実施)	幼児・児童・生徒に必要な栄養バランスのとれた安心・安全な食事提供を行っている。また、上川町産の食材を提供し子供達からは好評となっているとともに、保護者からも野菜が充実し、おいしい給食と評価されている。食材価格の高騰などが続いていることから、次年度より価格改定を行い安心安全な給食の提供に努める。心身の健全な発達のためにも、事業を継続する。 高校給食提供(希望者対象)も3年目となりますが、給食提供は好評であった。
学-17	給食費無償化事業	給食費を補助することにより保護者の経済的負担を軽減し安心して子どもを生み育てやすい環境づくりに寄与する	決算額 7,403,346円 給食無償化事業(平成29年度から実施) 児童 95名 生徒 55名	保護者の経済的な負担を減らすことができ、子育て支援の充実の観点から、今後も事業継続とする。
社-1	社会教育施設整備事業	生涯学習活動の拠点となる施設の維持管理を図る	決算額 8,320,650円 かみんぐホール(公民館)の管理・運営 かみんぐホール暖房用温水配管改修工事 その他修繕等 かみんぐホール利用状況 15,723人	かみんぐホールの利用者数については、前年度比で微増となった。 かみんぐホールは、多くの町民・サークル団体が利用する生涯学習活動の拠点であり、施設環境整備が不可欠のため事業継続とする。
社-2	生涯学習事業	町民の学習機会の充実と指導者や担い手の育成、様々な情報の提供と参加奨励を図る	決算額 0円 各種計画に基づいた事業報告 生涯学習に関する情報発信 かみんぐニュース、町HP等で適宜広報 生涯学習指導者銀行(地域サポートクラブ) 指導者の確保(R5年度23人)、小学校スキー授業(2回延べ4人)	住民の多様な学習要望に応え、学習情報の提供、指導者派遣等を開催している。 本年度は社会教育推進目標を設定した第10次上川町社会教育中期振興計画における生涯学習の推進を実践している。 生涯学習の基本である「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」が学ぶことができる様々な情報の提供と参加推奨を図ることから、今後も事業継続とする。

## (2)主要施策、事業等の実施状況及び評価

No.	事務事業名	目的	実績	点検・評価と方向性
社-3	幼児・少年教育事業	子ども達が自ら社会性・独創性を養い、心身ともに豊かな人間形成が図られるよう、環境基盤等の強化に努める	<p>決算額 581,519円</p> <p>ジュニアリーダー研修会(中止)</p> <p>夏の自然体験学級(中止)</p> <p>生涯学習アドバイザーを中心とした学習相談等の実施</p> <p>子ども会育成会組織の機能充実</p> <p>地域教育力の充実のための指導者研修(10/12 計11人)</p> <p>異世代間交流事業</p> <p>先人の知恵、生活を学び、教育力向上のための世代間ふれあい促進事業の開催(9/23 計36人)</p> <p>未就園児家庭教育学級の開設と子育て支援団体との交流(中止)</p> <p>学習機会の充実</p> <p>児童生徒主張のつどい(9/16 発表者9人)</p> <p>新春書き初め大会(1/21 20人)</p> <p>ジャンプアップひろば・夏(7/24・25・26 延182人)</p> <p>ジャンプアップひろば・冬(2/25・26・27 延168人)</p> <p>通学合宿(中止)</p> <p>上川町地域未来塾 中学生・夏(7/24・25・26 延11人)</p> <p>上川町地域未来塾 中学生・冬(2/25・26・27 延17人)</p> <p>上川町地域未来塾 高校生①(5/26・29・30・31 延30人)</p> <p>上川町地域未来塾 高校生②(11/17・20・21 延48人)</p> <p>上川町地域未来塾 高校生③(2/15・16・19・20 延33人)</p>	<p>乳幼児期の子どもの成長や発達に応じた親の子どもに対する関わり方などの学習機会を提供するなど家庭教育支援が図られている。</p> <p>少年期では、体験活動などにより健やかな心身が養われている。中学生対象の上川町地域未来塾では大学生による学習指導により学習機会の寄与を図っている。</p> <p>本年度においては、昨年度に引き続き地域未来塾の対象を高校生にまで拡大し事業を実施し多くの高校生の学習機会の提供に寄与している。次代を担う乳幼児少年の健全育成のため、一層の幼稚園・保育所、学校、関係機関との連携を深めるため事業継続とする。</p>
社-4	成人教育事業	成人へ様々な情報・交流・研修の場を提供し、個々の活動の活性化を図る	<p>決算額 494,144円</p> <p>学習機会の充実、情報の提供</p> <p>刺繍講座などの教養講座の開催(4月28日～3月31日 6講座 延115人)</p> <p>はたちのつどいの開催(1/7 26人)</p>	<p>成人の学習ニーズに応じた多様な学習機会を提供することにより、各団体、個人の自己研鑽が図られている。</p> <p>今後、学習機会においては社会教育中期計画で浮き彫りとなった地域の繋がりを意識した多様な事業展開を図っていく。</p>
社-5	高齢者教育事業	次世代に高齢者の持つ豊富な経験と知識を継承するとともに、自学・自修の機会の提供を図り社会参加を促す	<p>決算額 19,360円</p> <p>児童生徒との交流</p> <p>白寿大学合唱クラブにより中学校学校祭での発表(9/8 37人)</p> <p>上川ジャンプアップひろばへの協力(12/26 12人)</p> <p>関係機関との交流</p> <p>鷹栖町ななかまど大学との交流学習(6/14 54人)</p> <p>学習領域の拡大</p> <p>白寿大学の開設と月1回の授業開催(全15回中1回中止)</p> <p>世代間交流事業</p> <p>先人の知恵、生活を学び、教育力向上のための世代間ふれあい促進事業の参加(9/23 36人中24人※65歳以上)</p> <p>高齢者人材確保、ボランティア活動の推進</p>	<p>本年度は白寿大学の授業を中心に一生学び続けることのできる生涯学習の場として、高齢者が生きがいのもてる学習や事業の提供が図られている。</p> <p>参加者自らが率先して学習プログラムの立案、運営を行い効果的な事業展開が図られている。コロナ禍で中止となっていた課外授業を再開し学習を深めている。</p> <p>高齢期を健康で過ごすために事業継続とする。</p>

No.	事務事業名	目的	実績	点検・評価と方向性
社-6	公民館活動事業	町民の多様化する学習ニーズに対応するため、各種講座・教室等の開催や学習情報の提供を行う	決算額 210,976円 講座等の開催 自然観察講座(3回 27人)、登山会(2回 21人)、学校開放事業(84回 594人) 教養・趣味講座(4月28日～3月31日 6講座 延115人) 全町新春俳句展示会(4人 14句) 体育・レクリエーション事業 チビッツチャレンジランキング(9/30 35人)、全町ラジオ体操のつどい(夏休み7/23～8/21 43人※カード回収)、かみかわっ子祭り(3/2 74人)	本年度は、全体としての講座の開催が少なかったが、地域を学ぶ自然学習や教養・趣味講座が実施され、生涯学習の推進が図られている。 地域の学習や文化の推進に寄与し、「あつまる」、「まなぶ」、「つなぐ」の基本理念の推進が図られる必要があることから事業継続とする。
社-7	芸術・文化事業	町民に優れた芸術に触れる機会を提供するとともに、町内で文化活動をされている個人・団体の支援を図る	決算額 3,691,224円 文化鑑賞事業 【幼児・低学年】文化鑑賞事業「寝太郎物語り」(9/6 105人) 【全町民】文化鑑賞事業「神技ワールドサーカス」(11/29 140人) 文化講演事業 【全町民】文化講演事業「パクンマクン」(1/14 111人) 町民文化祭 総合舞台発表、作品展示、産業展示販売実施(10/28～11/3 延988人) 日頃の成果の発表の場を提供 上川美術展の開催(6/2～7/17 1団体・2個人) 文化協会活動支援事業(令和5年度で文化協会解散) 子ども劇場 文化に触れる機会の創出 浮世絵展示会の開催(6/2～9 168人) シマエナガ展の開催(1/15～31 延314人)	コロナ後、3年振りに文化鑑賞事業と文化講演事業を開催し、質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を創出することにより、想像力や思考力、コミュニケーション能力を養っている。 また、町民総合文化祭の舞台発表も3年振りに再開し、活動の成果を発表できた。さらに50年以上続く文化協会が解散した事を受け、今後公民館登録団体として文化団体の育成や文化継承を引き続き図っていく。 各種文化活動の発表の場を提供することで、サークル活動の充実と地域文化の推進が図られることから事業継続とする。
社-8	文化財保護・活用事業	郷土の歴史に関する資料の収集保存・保護を推進し、町の歴史的な文化財継承を図る	決算額 6,404,209円 郷土資料館の管理・運営 利用人数 340人 郷土資料収集員 郷土資料収集員(5名)による会議の開催(6/5) 日常の郷土資料収集 天然記念物の保護保全 天然記念物現状変更申請事務 アイヌ文化保存継承事業	郷土理解・学習を深められる施設(ふる里たいせつ館)となるよう、資料の展示・整理を行っている。 開拓当時の生活必需品や農機具・林業機材の収蔵・展示を行い、先人の偉業や開拓の歴史を町民の財産として後世へ残していくことは極めて重要であることから事業継続とする。

## (2)主要施策、事業等の実施状況及び評価

No.	事務事業名	目的	実績	点検・評価と方向性
社-9	図書室管理事業	町民の多様な要求と学習に応じた図書の整備及び読書普及活動の拡充を図る	決算額 10,240,724円 読書普及事業 上川小学校、つつじ苑(中止)、図書室での読み聞かせ、上川小学校における校内放送による読み聞かせ、学童保育の読み聞かせ 層雲峡地区・たいせつの絆(中央老人クラブ例会)への移動図書 青空図書館の開催、学校図書室整理補助 蔵書数 図書 47,000冊、雑誌 894冊、AV 1,230点 合計 49,124点 年間利用者数 6,642人 貸出数 13,673点 人口1人当たり4.50点(うち図書:3.97冊) 第3次上川町子どもの読書活動推進計画 令和5年度から向こう5カ年計画	読書活動の推進が図られるよう期間ごとの展示や読み聞かせ等を行っている。 読書ボランティアの協力のもと行っている絵本の読み聞かせ等により、子どもの読書活動の推進が図られている。 本年度は子どもの読書活動推進のため第3次上川町子どもの読書活動推進計画を推進し、利用者も前年度から増加傾向にある。 町民のニーズに応えた図書整備や更なる読書普及活動等の推進を図り、身近な生涯学習の拠点として事業継続とする。
社-10	スポーツ・レクリエーション事業	各種スポーツ・レクリエーション事業及びスポーツ教室等を開催し、スポーツ活動の普及及び身近にスポーツを親しむ機会と交流の場を設けることにより町民の健康増進を図る	決算額 5,626,858円 <b>【チビっ子教室関係】</b> 剣道教室10回(4名)、スポーツ体験講座(野球遊び編)5回、(8名) 陸上教室10回(30名)、野球教室9回(12名)、サッカー(フットサル)教室9回14名 基礎体力養成教室20回(26名)、スキー教室8回(26名)、スケート教室8回(18名) 北海道日本ハムファイターズ少年野球教室1回(32名)、スポーツチャレンジ教室1回(45名) <b>【成人教室】</b> エクササイズ教室(ピラティス)10回(19名)、トレーニングマシン講習会82回(82名) <b>【大会・レクリエーション関係・その他後援事業】</b> 春季ソフトミニバレーボールリーグ戦(6チーム49名)、朝野球リーグ戦4チーム65名 全町パークゴルフ大会19チーム89名、ナイターソフトボール大会6チーム90名 レクボッチャ選手権大会(世代間ふれあい促進事業兼親子ニュースポーツ大会) 12チーム36名、KAMIKAWA SPORTS EDUCATION44名、レッツウォーキング7名 秋季ソフトミニバレーボールリーグ戦(4チーム35名)、新体力テスト17名 ベースボールチャレンジin上川町30名、女子スキージャンプワールドカップ 応援団派遣14名、陸上教室(上中・上高指導者による)22名、クロスカントリースキー 体験会3名、全道ジュニアクロスカントリースキー上川大会(中止)、北部北海道児童 生徒スピードスケート大会(中止) <b>【研修事業】</b> スポーツ研修事業(コーチ・ペアレント講習会)23名 <b>【その他健康増進事業】</b> 運動・スポーツ習慣化促進事業新規登録24名全体110名延203人(自主延1,161人) インボディ測定128名	心身ともに健康であり続けるために、住民誰でもライフステージに応じて、気軽にスポーツやレクリエーションの楽しさを味わえるような活動機会が求められている。特に、コロナ禍以降、ますます健康に対する意識は高まってきており、子どもから高齢者まで多様なニーズに合わせた事業展開を行ってきている。 特に令和4年度よりスタートした運動・スポーツ習慣化促進事業においては、これまで運動に参加されていなかった方の掘り起こしに繋がり、町民の健康増進に大きく寄与した。 また、各種スポーツ教室をはじめとした子ども対象の事業についても充実を図り、スポーツ選択の幅を広げ、少年団への加入促進などへもつながっている。 そして、少年団活動をはじめとしたスポーツ活動のさらなる充実を図るためには、専門的な知識や技術を有した指導者の充実が必要不可欠であり、スポーツ研修事業の実施を通して、指導者育成を図ってきている。 スポーツを通じ交流を深めることは、個々の体力向上・健康増進につながることはもちろん、町民相互の新たな連帯、地域の活力向上にもつながることから重要であり、今後も事業継続とする。

No.	事務事業名	目的	実績	点検・評価と方向性
社-11	体育団体の育成と連携事業	体育協会、チビッ子スポーツ少年団等との連携や、運営に対する助成を行い、各体育団体の育成を図る	決算額 1,073,255円 体育協会 9団体 299名 スポーツ少年団 6団体 31名 チビッ子スポーツ少年団 5団体 39名	当町のスポーツ振興のため団体育成は非常に重要であり、スポーツ少年団や体育協会等と連携し、継続的な団体育成を図ってきている。 スポーツ少年団育成を通して、子どもたちの体力や技術力の向上及び心身の健全な育成が図られ、体育協会をとおした体育団体への助成により、各種団体の町民のスポーツ参加の機会が図られている。 しかし、一方で人口減少や指導者不足などを理由に、それぞれの加入団体数は減少傾向にあるため、さらなる団体育成事業の充実を図っていく必要がある。 内容等を審査しながら今後も事業継続とする。
社-12	体育施設整備事業	スポーツ施設の適正な維持管理を行い、町民の健康増進を図る	決算額 38,815,275円 (内訳) 施設管理経費 保健体育施設管理経費 総合体育館維持管理経費 栄町パークゴルフ場維持管理経費 町営球場維持管理経費 水泳プール維持管理経費 クロスカントリー維持管理経費 中山スキー場維持管理経費 スケートリンク整備交付金  施設利用状況 (前年利用者:前年対比) 総合グラウンド 3,097人 (2,837人:109%) 総合体育館 15,625人 (15,475人:101%) [内 トレーニングマシン 3,324人 (3,328人:100%)] 栄町パークゴルフ場 3,673人 (3,318人:111%) 町営球場 880人 (1,298人:68%) 水泳プール 1,788人 (1,418人:126%) 中山スキー場 1,043人 (1,101人:95%)	生涯スポーツの推進にあたり、町民の健康増進を図るため、町民が快適に利用できるよう、各スポーツ施設の良好な維持管理に努めている。 施設の利用状況については、消毒など感染症等の感染対策を講じながらではあるが、スポーツを積極的に行う環境が回復し、施設の利用率も一部の施設を除き、増加傾向にある。 しかし、一方で各施設の老朽化が進んできており、修繕箇所等も増えてきていることから、さらなる整備が必要となってきている。 コロナ禍以降、健康に対する需要が高まり、ますます運動ニーズが高まってきていることから、今後も多様な利用者ニーズに合った施設整備が必要であると同時に、老朽化している施設の計画的な整備を行っていくため事業継続とする。

## 5、学識経験者の意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会が行った点検及び評価の結果に対する意見をいただくことにいたしました。

このことにより、点検及び評価の客観性を確保するとともに、いただいた意見等については今後の施策、事業等の展開に活用していきます。次の二人の方からご意見をいただきました。

笠木 陽子 氏 (上川町社会教育委員、上川町公民館運営審議会委員)

神田 宥治 氏 (上川町社会教育委員、上川町公民館運営審議会委員)

### (1) 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び上川町教育委員会会議規則に基づき、教育長と4人の委員が教育に関する様々な議題について審議し、教育委員会としての意思決定を行っています。

また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、コロナ禍前の体制に戻しつつ、教育現場の状況に応じた議論を行うため、年2回の学校訪問、運動会や学芸会、公民館・社会教育事業などに出席し、教育現場の意見や要望に耳を傾けたり、児童生徒等の活動の様子を視察しています。加えて全道や管内の研修会にも参加し、教育の現状と今後の在り方などを学んできています。

以上のことから、教育委員会の活動は適切に進められているものと判断いたします。

### (2) 学校教育

学校教育では、義務教育において良質な教育環境を維持するため、教材、図書、機器等の確保が適正に図られ、教職員の資質能力の向上に向けた研修・研究が行われています。学力向上については、習熟度別や少人数指導、チーム・ティーチングなどきめ細かな授業が行われ、また町独自の臨時教諭及び支援員を配置、併せて朝学習・読書活動・放課後学習等を実施し学習の定着化と学力向上のための対策が図られています。様々な取り組みから、一人ひとりの能力や個性を伸ばす指導が展開されており評価できます。

外国語教育や国際理解教育では、ALT2名を配置し、幼児・児童・生徒の英語教育が行われております。中学生のロッキーマウンテンハウス町との交流事業については、今年度も実施することができませんでしたが、次年度のカナダの学生の来町に向けた検討がなされています。

高校教育では、通学費補助事業や上川高等学校入学準備助成金事業を実施、上川中学校から上川高校に就学した場合に助成する就学支援事業、タブレットの無償貸与や特色ある学校づくりとして希望する1・2年生の生徒の海外研修を行ってきています。中高一貫教育推進事業においては、漢字・英語・数学等各種検定の補助を行っており、保護者の負担軽減や生徒の学力向上につながっています。また、町としても魅力ある学校づくりを目指すために上川高等学校魅力向上推進協議会と共に、今後の高校存続に向けて、より一層の対策が図られることを期待します。

学校給食については、衛生管理の徹底を図るとともに、栄養士や調理員が工夫を凝らしながら、幼児・児童・生徒の心身の健全な発達のため安全・安心な学校給食が提供されています。また、小中学校の児童・生徒の給食費が完全無償化され、上川高校においては、希望者に有料で給食の提供を行うなど、保護者の経済等の負担軽減が図られており評価できます。

### (3) 社会教育

社会教育では、令和4年度に上川町社会教育の総合的な計画として「第10次上川町社会教育中期振興計画」が策定され、社会教育環境の整備が進められています。令和5年度の事業については、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となったことから、コロナ禍前に近いかたちで各種事業の再開や拡大などが行われました。また公民館事業では、自然観察や教養・趣味講座などが再開され多くの町民が参加されています。児童・生徒のつどいやジャンプアップひろばの実施、地域未来塾の拡大などが挙げられます。

文化鑑賞事業や文化講演会も再開となり、町民文化祭についても、3年ぶりに舞台発表が実施されており評価できます。なお、50年以上続いてきた文化協会が令和5年度をもって解散されたことは残念でなりません。

文化財保護・活用事業では、上川町郷土資料館「ふる里たいせつ館」が、先人の苦勞・郷土の歴史を学ぶ学習施設として開放されており、より一層、町民に利活用されるよう取り組みを期待します。

図書事業では、町民のニーズに応えた図書を充実し利用の促進を図っており、読書ボランティアによる読み聞かせの継続と、特に、絵本、大型絵本、紙芝居などを活用した青空図書館や層雲峡地区への移動図書、かみんぐホール図書室や学童保育センターでの読み聞かせなどを行っているほか、上川小学校放送室での朗読など、子どもたちへの普及活動に力を注いでいることは評価できます。

社会体育では、スポーツの推進・健康増進を図るため、各施設を運営されています。特に令和4年度から行っている運動・スポーツ習慣化促進事業においては、町民の関心は高く参加者が増加し事業の成果を上げています。栄町パークゴルフ場においても町民に大いに利用され健康増進を図っており、町民が身近で気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるように努めております。

また、北海道日本ハムファイターズ少年野球教室やレッツウォーキングなども昨年に続き実施され、従来どおりの活動が展開されてきています。社会体育事業は、町民の参画が広まり、健康増進の充実が図られてきています。更なる活性化の取り組みや施設の充実を期待します。

### (4) 総合評価

令和5年度における委員会活動状況及び学校教育、社会教育の施策・事務事業等が適正に点検評価されております。

生涯を通じて人間性豊かな創造性に富んだ人づくりのため、住民の学習意欲の向上を図り、学校・家庭・地域との連携や福祉、産業などの多様な分野が有機的に結びついた生涯学習体制の確立に努めていただきたいと思います。

また、学校・家庭・地域が連携しての事業展開や生活習慣の改善、子どもたちの学力向上はもとより、いじめや自殺問題など様々な課題等に対応するため、柔軟かつ的確な判断のもと、教育施策を推し進めることが求められています。そのため、学校と教育委員会が一丸となり、実情把握に努めるなど万全な対応と「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな身体」の調和のとれた学校教育活動の推進を図っていただきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類の位置付けになり、様々な制限・制約が解かれ各種の活動が活発化されてきました。しかし、上川町における少子高齢化や急速な人口減少などから各種生涯学習事業の参加人数の減少や指導者不足などの課題を抱えています。生涯学習の原点に立ち、地域の実情に応じた様々な学習機会の提供・情報発信を具体的かつ効果的な取り組みが行われるよう期待します。

令和6年10月31日

笠木 陽子

神田 宥治